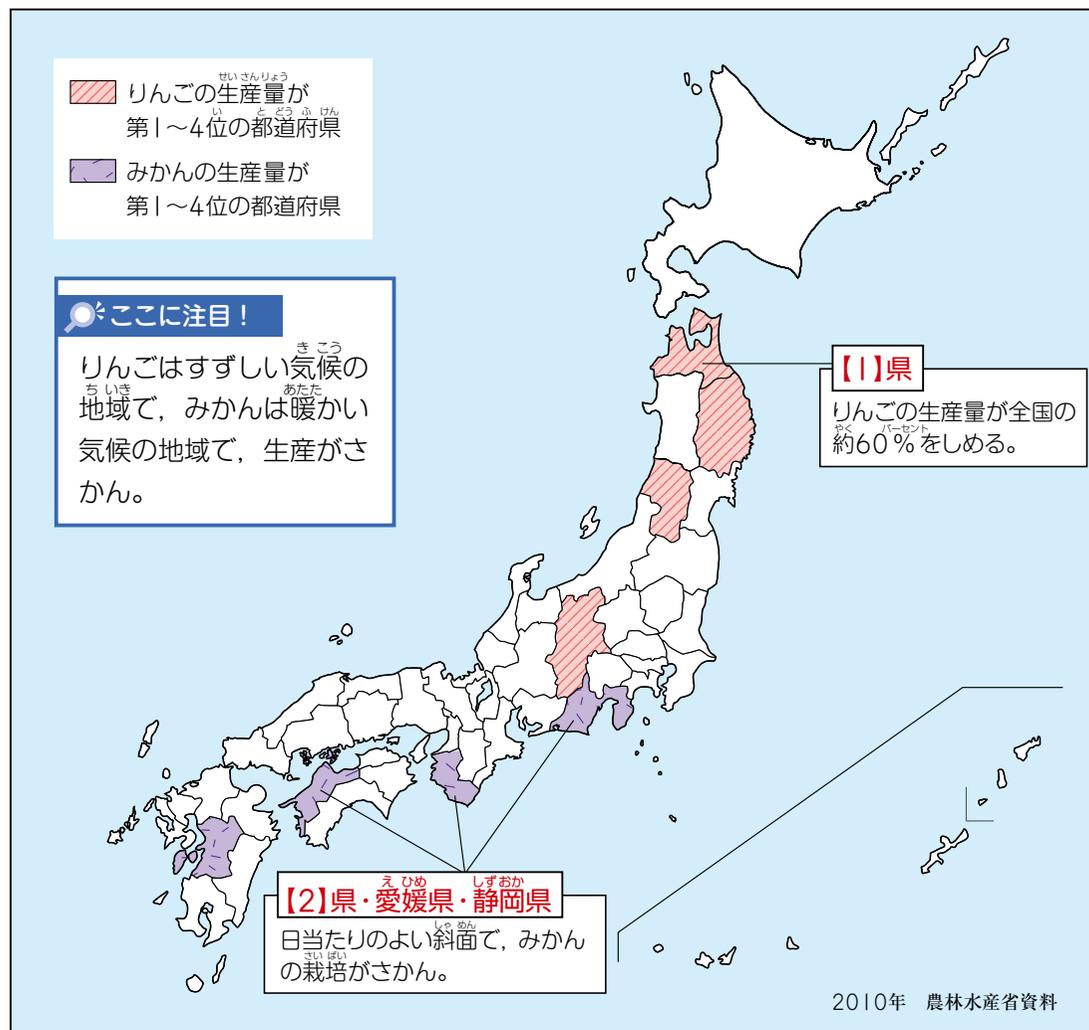




果物についても、種類ごとに生産がさかんな都道府県の特徴が見られます。「この県が生産上位にあるから、果物の種類は〇〇」というように覚えておくことが重要です。入試でも問われやすいので、よくおさえておきましょう。



りんご・みかんの生産量の多い都道府県

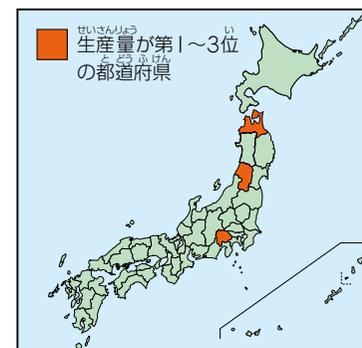
関連 → 30 ページ 都道府県別の米の生産量

りんごの栽培には、すずしくて降水量が多くない気候が適しており、【1】県をはじめとする東北地方の県や、【3】県などで生産がさかんです。一方、みかんは、暖かい気候が適しています。【2】県・愛媛県・静岡県などの、日当たりのよい斜面でたくさん栽培されます。このように、果物の栽培には、気候が大きく働きかけますので、生産がさかんな都道府県を、その気候の特徴とセットでおさ

えておきましょう。

ほかの果物では、【4】は山形県、【5】は山梨県で生産がさかんです。ともに、昼夜の気温の差が大きく、降水量がそれほど多くない、盆地の気候が適しています。

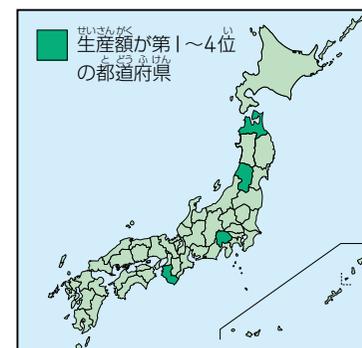
果物全体では、【1】県・【2】県・山梨県・山形県が生産額の上位をしめています。また、果物ではありませんが、茶の生産は【6】県・鹿児島県でさかんです。



さくらんぼ



ぶどう



くだものぜんたい
果物全体



茶

2010年（果物全体は2009年、茶は2011年）農林水産省資料

ポイント 果物の栽培がさかんな都道府県をおさえよう！

- りんごの生産がさかん…すずしい気候の青森県・長野県
- みかんの生産がさかん…暖かい気候の和歌山県・愛媛県・静岡県
- 果物の生産額が多い…青森県・和歌山県・山梨県・山形県

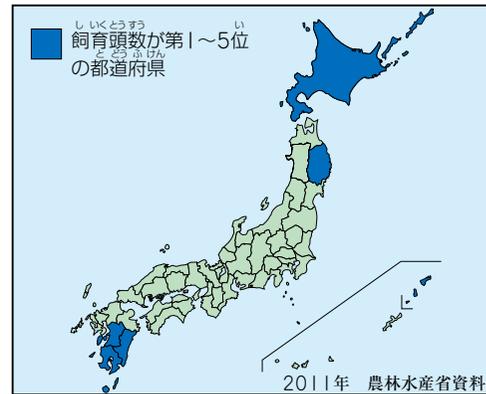
入試ではここが問われる！

- ある果物の生産がさかんな都道府県をぬりつぶした地図が示され、何の果物かが問われます。
- ある都道府県の果物作りについての文が示され、当てはまる都道府県を地図から選べる問題が出されます。

乳用牛（乳牛）や肉用牛（肉牛）、ぶた、にわとりなどを飼育して、乳や肉、卵などを生産する農業を畜産業といいます。どのような都道府県で畜産業がさかんなのか、見ていきましょう。



乳用牛の多いところ



肉用牛の多いところ

乳用牛を育て、牛乳やバター、チーズなどを生産する農業を【1】といいます。【2】では、広大な土地を利用して大規模な【1】が行われており、乳用牛の飼育頭数は他の都府県を大きく引きはなして全国一です。また、大消費地に近い、関東地方の【3】県や群馬県でも、乳用牛の飼育がさかんです。

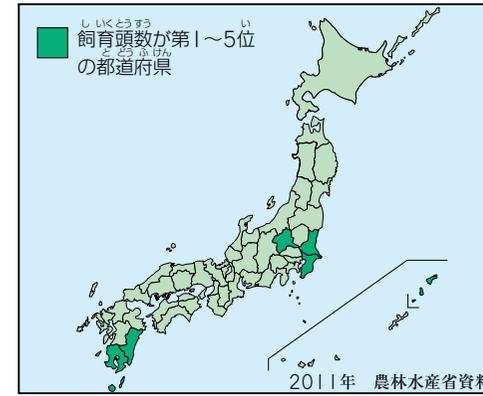
牛を放牧するのに都合のよい、広大な牧草地のある【2】は、乳用牛とともに肉用牛の飼育頭数も全国一です。また、【4】県・宮崎県・熊本県といった九州地方の県が上位をしめているのが特徴です。

家畜の都道府県別頭数

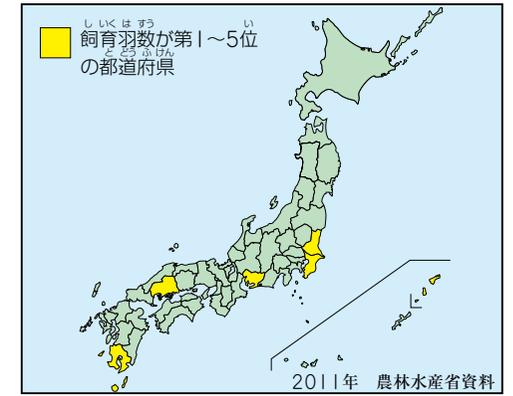
	乳用牛		肉用牛	
1位	【2】	82.8万頭 (56.4%)	【2】	53.6万頭 (19.4%)
2位	【3】県	5.3万頭 (3.6%)	【4】県	36.1万頭 (13.1%)
3位	岩手県	4.7万頭 (3.2%)	宮崎県	24.0万頭 (8.7%)
4位	熊本県	4.4万頭 (3.0%)	熊本県	14.6万頭 (5.3%)
5位	群馬県	3.9万頭 (2.7%)	岩手県	10.9万頭 (3.9%)

2011年 農林水産省資料

肉用牛の飼育がさかんな【4】県・宮崎県は、ぶたの飼育もさかんです。また、大消費地に近い【5】県・茨城県・群馬県が、ぶた飼育の上位をしめています。



ぶたの多いところ



卵用にわたりの多いところ

卵用にわとり（卵をとるために飼育しているにわとり）は、輸送にかかる時間や費用をおさえるため、大都市の近くでの飼育がさかんです。関東地方では茨城県や【5】県、中部地方では愛知県、中国地方では広島県、九州地方では【4】県において、多くの卵用にわとりが飼育されています。

家畜の都道府県別頭数・羽数

	ぶた		卵用にわとり	
1位	【4】県	137.2万頭 (14.0%)	茨城県	1312万羽 (7.5%)
2位	宮崎県	76.6万頭 (7.8%)	【5】県	1275万羽 (7.2%)
3位	【5】県	65.5万頭 (6.7%)	【4】県	990万羽 (5.6%)
4位	茨城県	62.4万頭 (6.4%)	愛知県	962万羽 (5.5%)
5位	群馬県	61.0万頭 (6.2%)	広島県	869万羽 (4.9%)

2011年 農林水産省資料

ポイント 北海道と鹿児島県に着目しよう！

- ・北海道で飼育がとくにさかん…乳用牛・肉用牛
- ・鹿児島県で飼育がとくにさかん…肉用牛・ぶた

入試ではここが問われる！

- ・複数の地図やグラフから、特定の家畜の飼育数の多さを示したものを選ぶ問題や、地図とともに、「根釧台地」「シラス台地」といったキーワードをふくんだ文章を読んで、北海道・鹿児島県などの道県を判定する問題などが出されます。
- ・高速道路などが示された地図を用いつつ、大都市の近くで卵用にわとりや乳用牛の飼育がさかんな理由が問われる場合があります。